

静岡大学生涯学習教育研究センター

地域と大学

第12号

Newsletter No. 12, Center for Education and Research of Lifelong Learning

～平成15年度社会教育主事講習の実施とこれから～

静岡大学生涯学習教育研究センター教授 柴垣 勇夫

都道府県及び市町村の教育委員会には社会教育関連の事業を展開するために、専門的技術的な助言と指導を与える職務をもつ、社会教育主事を置くことが社会教育法第9条の2で定められています。そして地域の社会教育、生涯学習を推進するために、文部省は昭和49年から、派遣社会教育主事を各県に40～50名単位で三年前後を期限に市町村へ派遣する制度を設けて事業の支援をしてきました。しかし平成10年度以後国庫の交付金が段階的に減少し、現在では財政上の問題から自治体での一般財源化を余儀なくされ、県単位でその方法、派遣人数などの内容が変更されてきました。静岡県でも社会教育専門員、或いは社会教育指導員という名称の指導者を組織し、研修を行う制度が生まれ、様変わりするようになってきました。しかし、社会教育法第9条の4に基づく資格を与えるための講習（法第9条の5）は、文部科学省の委嘱のもと大学その他の機関で行うことが規定されており、現在も全国をブロック単位にして当番大学を決め、毎年、地方公務員、教員、一般社会人等を対象に募集、実施されています。

平成15年度は、5年に2回の当番という枠で平成11年に行って以来の実施順が巡り、神奈川・山梨・静岡の三県を対象に静岡大学が行うこととなり、生涯学習教育研究センターでは、平成15年7月22日(火)から8月21日(木)までの、31日間(実働25日)にわたって実施しました。過去、平成10年(センター初年度のため、教育学部で実施)、11年(この年本格的にセンター主催で実施)の実施経験から、講習前半に2泊3日(焼津青少年の家)と、中程に3泊4日(御殿場中央青年の家)の2回の宿泊研修を含めたカリキュ

ラムを組み、6月17日(木)で、受講生募集を各県教育委員会を通じて行いました。こうして1か月余というロングランの講習が開始されたのでした。

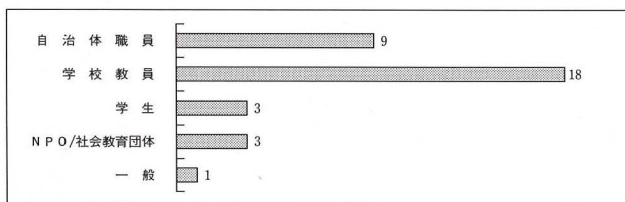
このブロックは受講者のやや減少している地区で今年度は応募36名でしたが、最終的に受講生34名でした。講師の総数35人、演習講師の数12人によるロングランの講習は、生涯学習概論2単位、社会教育計画2単位、社会教育演習2単位、社会教育特殊講義3単位の四科目9単位を1か月余の内に段階的に学習できる日程を組み、あいだに演習用の合宿を組むというハードなものです。特に演習は、受講生を6グループに分け、あらかじめ設定された課題に割り振った構成メンバーで取り組み、演習レポートを期間内に提出するというもので、学生が大学在学中に得る社会教育主事資格修得のための学内カリキュラムと違い、担当講師も、受講する方もかなりの強い意志をもたないと継続できない講習です。しかし落後者もなく、無事全員が講習を修了しました。

参加者は、男性28(静岡20、神奈川8)名、女性6(静岡4、神奈川2)名の合計34名で、40代が18名と過半数を占め、平均年齢38.9歳でした。



平成15年度社会教育主事講習開講式 記念写真(7/22)

参加者の構成



終了後、講義と演習が無理のないような段階的な過程を経て、しかも連続性をもって組まれていたかとか、グループワークの時間の取り方など、カリキュラムの設定と演習テーマに問題はなかったかなどの反省をセンター内で行い、以下の点を今後への課題といたしました。1)施設を利用した講義と見学に移動を伴う点で不満が多く、他県参加者の宿舎からの移動の便宜を考慮する必要があったこと。2)生涯学習の多様化に即したグループワークの設定を如何に組むか。3)県教育委員会と連携して社会ニーズを主事講習に生かす方法を確立し今後の実施に反映させること。

また、受講生のアンケートのうち建設的なもの

公開シンポジウム『アジア学の構築をめざして～海と森と草原のアジア～』の実施

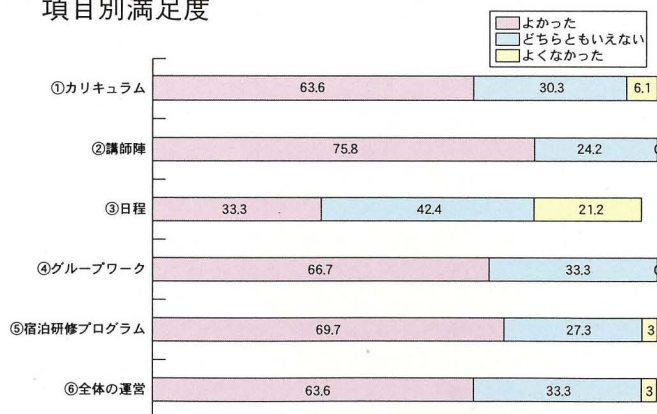
アジア学研究プロジェクトチームと当センターの共催で、特別講演を含むパネルディスカッションを下記のように実施致しました。当日は約120名の参加があり活発な論議が交わされました。

日時：平成15年6月1日(日)13:00～16:30

場所：グランシップ・交流ホール

・特別講演『いくつものアジアーアジアをみる視

項目別満足度



を掲載し、この講習の締めくくりとし、今後の課題に追加してみます。①一般社会人の参加しやすいシステムにして欲しい。②宿泊施設の設備改善を望む。③大学講義室のIT環境の充実を望む。④グループワークの個人調査時間を要望。

なお、昨年末ブロックの構成が再検討されて、静岡県は東海ブロックへ編入されることとなりました。平成16年度は岐阜大学で、引き続き愛知教育大、三重大、静岡大と実施されます。

点ー』佐々木高明国立民族学博物館名誉教授

・パネルディスカッション

今永正明(農学部教授)、楊海英(人文学部助教授)、森口恒一(人文学部教授)各氏の事例報告と討論、コーディネーター中井弘和副学長・総司会：滝欽二(生涯学習教育研究センター長)

平成15年度静岡大学公開講座の実施

《全学公開講座の内容》

1. 沼津会場 沼津市民文化センター/参加受講者48名

講座テーマ「駿河の文学と歴史」各土曜日

計5回、14:00～16:00 受講料6,200円

内容：8/30(土)「駿河東部の地理」

塩川 亮教育学部教授

9/6(土)「駿河の古典文学」

関根賢司人文学部教授

9/13(土)「駿河の近代文学」

一川端康成と芹沢光治良ー」

池田純溢教育学部教授

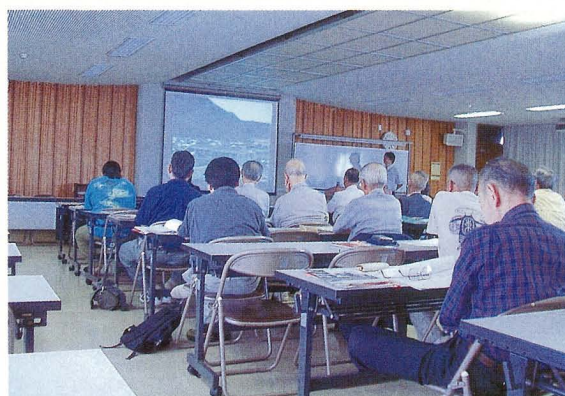
9/20(土)「考古学からみたスルガ」

滝沢誠人文学部助教授

9/27(土)「中世沼津の東海道と黄瀬川宿」

湯之上 隆人文学部教授

2. 静岡・清水会場 静岡市・清水中央公民館/参加受講者56名



静岡大学公開講座静岡・清水会場受講風景(9/27)

講座テーマ「東海道の文化史」各土曜日
計5回、14:00～16:00 受講料6,200円
内容：8/30(土)「原始古代の遺跡から見た東海道の形成」
篠原和大人文学部助教授
9/6(土)「中世東海道の旅と情報」
湯之上 隆人文学部教授
9/13(土)「東海道をめぐる文芸・膝栗毛を中心に」
小二田 誠二人文学部助教授
9/20(土)「東海道における仏教美術の伝播」
大宮康男教育学部助教授
9/27(土)「東海道と芸能文化」
上利博規人文学部教授

3. 浜松会場 於：静岡大学浜松キャンパス/
参加受講者15名
講座テーマ「健康と軽スポーツ」講義2、実技4
各土曜日計6回14:00～16:00 受講料7,200円
内容：9/20(土)講義「生活習慣病と運動」
山本裕之保健管理センター助教授
9/27(土)実技「ウォーキングとその効果」
中野偉夫教育学部教授
横山義昭同学部教授
10/4(土)実技「身近な道具を用いた楽しい運動」
同上

10/11(土)実技「ニュースポーツⅠ」
河合 学教育学部助教授
杉山康司同学部助教授
10/18(土)実技「ニュースポーツⅡ」
同上
10/25(土)講義「運動の科学」
稲村欣作教育学部教授

4. 静岡大会会場 於：大谷キャンパス理学部講
義室、教育学部美術教室等/参加受講者13名
講座テーマ「やきものの基礎を学ぶ」
各土・日曜日計5回13:00～15:00 受講料7,000円
内容：11/3(土)講義「日本のやきものの歴史」
柴垣 勇夫生涯学習教育研究センター教授
11/4(日)実技「古代・中世の陶器復元」 同上
11/11(日)実技「やきものの基礎：手捻り・紐づくり」
土屋 美智子教育学部美術科教務員
11/18(日)実技「やきものの基礎：釉薬を学ぶ」 同上
11/25(日)講評と講義「古陶磁から学ぶ作陶の実際」
柴垣 勇夫センター教授

《各学部、共同施設開催の公開講座》

教育学部女性テニス教室、同ラージボール卓球
教室、留学生センター「発見！日本語教育」、教員
のための教育実践講座、情報学部情報学講座がそ
れぞれ6月～11月に開催されました。

平成15年度生涯学習教育研究センター事業の実施

『大学と博物館を結ぶ⑦』公開シンポジウム を開催 ―博物館と大学、学生を結ぶ―

学内遠隔教育システムにより静岡・浜松キャンパスを結
び下記のように実施しました。参加140名
日時：平成15年7月5日(土)13:00～16:00
会場：共通教育A301(静)、情報学部会議室(浜)
パネリスト：守屋雅史(大阪市立美術館)、浅野毅(登呂
博物館)、佐渡友陽一(日本平動物園)、小池富雄(徳川



大学と博物館を結ぶ静岡・浜松遠隔教育システム利用風
景(静岡キャンパス7/5)

美術館)、杉山知太郎(平野美術館)、司会:柴垣勇夫(生
涯学習教育研究センター)、高松良幸(情報学部)

『しずだい・飛ぶ教室』川根、中伊豆、三島へ飛ぶ

大学の知的資源を県下の各地へ提供する、出前講演会「し
ずだい・飛ぶ教室」は以下で実施。
日時：①6月19日(休)生涯スポーツ、②9月13日(土)地域
の歴史、③10月19日(日)緑化産業
場所：①川根町西向集会場、②中伊豆町中央公民館、③三
島市市民生涯学習センター
講師：①中野偉夫教育学部教授、②原 秀三郎名誉教授、
③大原利真工学部教授

公開セミナー『来てみて静大』を大学祭の時期に実施

今年度は静岡・浜松両キャンパスにて、下記のように実
施いたしました。
①「キャンパス内の樹木と草花観察」/講師：湯浅保雄(農
学部教官) 参加15名
日時：11月15日(土)13:00～15:30 学内の樹木と草花めぐり
②「文化の記憶・記録のための情報学」
日 時：①11月1日(土)13:00～17:00
②11月29日(土)13:30～16:30
場 所：①浜松キャンパス情報2号館(参加50名)
②同佐鳴会館(参加120名)

テーマ：①文化遺産と情報学—日本・東洋美術を中心に—
②義太夫節と竹本弥乃太夫師の世界
講師：①肥塚隆大阪大学学術総合博物館館長・教授
②竹本弥乃太夫（重要無形文化財）

ふじのくにユースカレッジの研修講座終わる

静岡県教育委員会青少年課と共催のふじのくにユースカレッジ（青少年活動リーダー養成）の研修講座は15年6月22日（土）から16年2月21日（土）までⅡ期生5回、Ⅲ期生10回実施してきましたが、最終的にⅡ期生7名、Ⅲ期生15名がさまざまな講義と実習を体験し無事修了しました。

『学習ネットワークと生涯学習⑥』の開催

今年度の生涯学習ネットワークシンポジウムは、学校と地域の融合教育をテーマに以下の内容で実施しました。SCSシステムに東工大、徳島大など3大学の参加があり、好評裏に終わりました。

日時：平成15年1月20日（火）14:30～17:00

場所：附属図書館6階SCSメディアルーム

パネリスト：赤堀侃司東工大教授「日本人学校プロジェクト」、越田幸洋融合教育研究開発委員長「学校と地域融合教育のしくみ」本学情報処理センター大島純助教授「生涯学習者育成の総合学習」

パネルディスカッション：コメンテーター：角替弘志常葉大教授、司会：菅野文彦教育学部助教授

エルネットオープンカレッジへの参加

文部科学省モデル事業に参加し、静岡大学・常葉学園大学独自収録事業「スローライフのまちづくり—生涯学習のまち・掛川の新たな展開—」を制作し、教育情報通信ネットワーク・エルネットで、全国の社会教育施設に1/24、1/31放送。第2回は宮崎県都城市と双方向ライブを実施しました。

生涯学習指導者研修事業の実施

県公民館連絡協議会との共催で例年実施している公民館主事等の研修事業は、約50名の公民館関係者に加え、本学教育学部生涯学習課程の専攻学生20余名の参加を得て以下のように実施しました。本学教育学部石井山助教授の指導下に学生の研修視点の指摘や討論が活発に行われました。

日時：平成15年1月14日（水）10:00～16:00

場所：静岡市清水桜が丘町7-1 清水中央公民館

テーマ：公民館の活性化と学校との連携

基調講演：「生涯学習社会における公民館」

文教大学人間学部 野島正也教授
報告：研修事例：「地域に遊び場を築く・静岡県下のプレイパーク実践」石井山竜平助教授と学生
事例報告：焼津市小川公民館事例

松下正之市社会教育課長
富士市原田公民館事例

齊藤義人原田公民館長
パネルディスカッション：各報告者・学生、石井山助教授、司会：阿部耕也生涯学習教育研究センター助教授



生涯学習指導者研修事業基調講演（1/14）

富士川町で静大特別公開講座が開催される

平成15年度から富士川町中央公民館において静岡大学特別公開講座を行うこととなり前期、後期各5回の公開講座を町文化事業振興会共催で実施しました。

前期『東海道と富士川地域』19:00～21:00

7/11（金）	『中世の東海道と富士川』 湯之上 隆 人文学部教授
7/18（金）	『戦国期の富士川地域』 小和田哲男 教育学部教授
8/1（金）	『近世東海道の成立と富士川地域』 本多隆成 人文学部教授
8/8（金）	『近世富士川の渡船と舟運』 同上
8/22（金）	『江戸文学にみる富士川地域』 小二田誠二 人文学部助教授

後期『アメリカ外交政策と国際社会』

平日19:00～21:00、土日13:00～15:00

10/17（金）	『ベトナム戦争後のアメリカ外交 —ニクソンからブッシュJrまで—』 佐藤信一 人文学部教授
11/5（水）	『「ポスト冷戦後」の世界とアメリカ』 中本義彦 人文学部助教授

11/15（土）	『アメリカの金融戦略とグローバリゼーション』 鳥畑与一 人文学部教授
11/29（土）	『EU経済の深化と拡大』 安藤研一 人文学部助教授
12/13（土）	『アメリカの世界戦略とアジア経済』 朴 根好 人文学部助教授

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座情報、大学開放事業などを掲載し広報します。最近の計画、将来計画をセンターまでお寄せ下さい。
ホームページ <http://www.shizuoka.ac.jp/~cerll/>

地域と大学 第12号

静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌

平成16年3月31日発行

〒422-8529 静岡市大谷836（理学部B棟1階）

静岡大学生涯学習教育研究センター

TEL 054-237-1111（代）

TEL/FAX

054-238-4817（資料室・受付）

事務局 静岡大学研究協力課共同施設係 TEL054-238-4264